

# 学校だより

平成27年3月18日  
3月号  
姫路市立花田小学校  
(その2)

## “感激の6年生を送る会”

卒業まで2週間余りとなった3月6日(金)、体育館で「6年生を送る会」を行いました。主役はもちろん6年生。ちょっと照れくさそうな表情から、迫ってくる卒業に向けての緊張感が伝わってきました。

六年を振り返ると楽しい思い出ばかりとは言えないかも知れません。それでも、



同じ学校で過ごした仲間から感謝の気持ちを歌やダンス、言葉にして贈られると喜びは大きくなるし、次のステップに向けての力強いエールともなります。毎年、送る会も内容が充実して楽しく心の温かさが伝わる催しになっています。それは、感謝の気持ちを伝えるために、送る側も送られる側も相手に喜んでもらおうと一生懸命考えているからだだと思います。相手を思いやる気持ちの尊さとそれを確かに伝えることの大切さを分かる心が育っているからこのような催しが成功するのだと思います。6年生は新たな場で

自分の良さを思い切り発揮してくれるものと確信しています。

地区別児童会、そして6年生を送る会と順に次の5年生にバトンタッチしていきます。渡される5年生は、一つ一つ受け継ぐ度に責任と期待を胸に最高学年としての準備を整えてくれております。



### 輝く花田っ子

姫路市競書会(後期) 入賞者

1年

2年

3年

4年

5年

6年

これからも美しい字を心がけて書きましょう。

手作り朝ごはんコンテスト 入賞 1年

平成26年度の重点目標

- ・すすんで挨拶する子、もくもくと清掃活動する子を育てる。
- ・基礎基本を重視し、「読み・書き・計算」の確実な力をつける。
- ・全領域で言語活動や表現活動を重視し、自己表現力や豊かな情操を育てる。

本年度を振り返ると、元気一杯の花田っ子の笑顔が増えた一年であったと思います。色々な場を通じて子どもたちの頑張る姿を認め励ましていこうとスタートしました。何度も何度も同じ事を繰り返しながらですが、できた時分かった時に見せる子どもたちの笑顔は何ものにも代えることができない輝きがあります。次年度に向けさらに生き生きと躍動する子どもたちであるように導きたいと思っています。保護者の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

## 平成26年度 学校評価 報告書

★学校評価結果(※到達状況は4段階評価です)

分野	評価項目	学校自己評価		学校関係者評価
		状況	改善の方策等	
I 学教 習育 指課 導程	○漢字・計算の能力をつける	3	児童の意欲を大切に10分間学習、花田っ子チャレンジテストや児童のつまずきの早期発見を図る少人数指導を実施する。	・基礎学力向上のためにもチャレンジテストの成果に期待する。
	○読む力や自分の考えを言葉に表現する力をつける	3	自分の考えを小グループで話したり、ワークシートに書いたりする授業を行い、表現する機会を充実させる。又、学習内容の定着を図るために授業において「めあて」の確認と振り返りを行う。	・前向きで具体的な取組がなされていて良い。 ・児童の興味を引くような漢字の読み書き指導をお願いする。
II 進 路 指 導 ・	○学校内外でのルールを守る	4	指導の効果を上げるため項目を絞り協働体制に基づいた指導を行う。挨拶・服装等は教師が率先垂範する。また、ライフスキル教育を継続し、目標設定・意思決定のスキルを高める。	・褒めることで意欲を高める指導は素晴らしい。 ・継続的な取組をお願いしたい。
	○あいさつと清掃活動に意欲的に取り組む	4	小中連携の「あいさつ運動」を継続すると共に「黙々清掃」を一生懸命やっている児童を学年朝会等で褒める。またクリーンアップ作戦の成果を称え、活動への意欲を高める。	・地域の人への挨拶をもっとしてほしい。
III 食 健 育 健 康 教 育 ・	○自分の健康に関心を持ち、よりよい生活をしようとする	4	身体測定等の保健行事の時間に行う保健指導の充実を図る。また学校保健委員会の中身を学校便り等で知らせ、健康の保持増進への啓発を行う。	・生活習慣とりわけ朝食をとることの大切さを徹底して指導してほしい。 ・丈夫な身体は宝である。
	○食事のあり方に関心を持ち望ましい食生活をしようとする	4	食への意欲・感心を高めるために栄養職員と力を合わせ食育の授業を充実させる。また保護者を啓発するため、引き続き魅力ある給食便りの発行に努める。	・早寝早起き等の規則正しい生活を身に付けさせてほしい。
IV 地 保 域 護 と 者 の ・ 連 携	○学校と保護者との双方向の情報発信を行う	4	学校便り、学年便りの充実に努め、読み応えのあるものにする。また、担任は保護者からの連絡を学年団、学校全体で共有する。緊急連絡メールを継続する。	・ふれあい作品展は、四半世紀に及ぶ大切な行事である。今後も継続発展させていきたい。
	○保護者や地域からの要望や意見に迅速に対応する	4	「その日の事はその日の内に」を合言葉に家庭訪問を行い、問題解決に当たっては複数で対応する。またふれあい作品展等を交流の場とし、地域の声に耳を傾ける。	・地域の人材活用を今後も続けてほしい。